



聖ウルスラ学院

英智報

vol.44.2024.2.13

2023 年度最後のまとめの時期を迎えました。幼稚園は、「幼稚園型認定こども園聖ウルスラ学院英智幼稚園」と呼称を変え、特色ある質の高い幼稚園教育に加えて、子育て支援を取り入れた幼稚園型認定こども園としてスタートしました。幼稚園からスタートする 15 年間の一貫教育を導入し、聖ウルスラ学院英智小・中、高等学校との幼小中高接続教育をはじめ、様々な行事を積み重ねながら園児たちは成長してきました。小・中学校では、様々な行事をこなしながら力を蓄え、特に英語教育、言語技術教育での成果が顕著な年でもありました。高等学校では、大学入学共通テストを終え、2 次試験に向けて準備を進め、最後の追い込みに余念がありません。部活動関係では様々な部活動で大きな成果を上げることができた 1 年でした。本学院の 1 年間を振り返ってみます。

大学入学共通テスト

1月13日(土)・14日(日)大学入学共通テストが終了しました。これからが本番！

1 月 12 日（金）には各コースにて「結団式」が行われました。毎年恒例の校長先生からの「**ブルーローズ**」（花言葉：夢、叶う）が登場し、受験生全員が本番に向かう気持ちを再確認出来ました。今後、結果を踏まえての出願が始まり、それぞれの夢に向けた挑戦が続きます。



グローバル教育最前線

コロナ禍が明け、各種プログラムが再始動！

2023 年度は、コロナ禍で止まっていた各種留学プログラムのほとんどがパワーアップして再始動を始めております。さらに、コロナ禍を過ごしたことによりオンラインの利用についても加わり、事前・事後学習においてのハイブリッドな展開が可能になっております。姉妹校も 1 校増え（台湾 基隆輔大聖心高級中學）次年度に向けてさらなる飛躍が期待出来ます。また、特に Type2 コースにおいて近年顕著な伸びを見せ始めた海外大学進学に関してもそのシステム構築を盤石なものにすべく動き始めております。本校グローバル教育部 Facebook ページ(<https://www.facebook.com/profile.php?id=100057148912921>)にて各活躍が参照できます。



国際問題のディスカッション企画 「模擬国連」開催！

「模擬国連」とは、参加者がどこかの国の「大使」として、特定の国際問題をディスカッションする企画です。この模擬国連活動は、日本全国・世界各国で行われており、本校では 2020 年に開始され、宮城県内で実施している数少ない高校となりました。今年度は 7 月に初心者向け企画、12 月に中級者向け企画を行いました。このうち、12 月の企画は、T1・T2 の 1 年生・2 年生が約 30 名参加し、「国連安全保障理事会の改革」（常任理事国を増やすか、その拒否権をどうするか）を議題にして議論が行われました。どの参加者も実際の大使になったつもりで、担当国や議題について調べ、戦略を練り、他の大使との積極的な議論を展開し、様々なことを学んだようです。この活動は難しいのですが、生徒にはこうした「答えのない問い」に今後も挑んでほしいと思います！



Type1 コース

勉強合宿

Type1 コースの中学と高校の5学年が、4月と7月の2回にわたり、合同で勉強合宿を実施しました。この合宿では、生徒たちは研修施設に宿泊し、数日間にわたって勉強に集中しました。この経験により、生徒たちは日々の学習課題を把握し、計画的に学習する能力を身につけ、合宿から帰ってからも自律して学習に取り組むことができるようになりました。また、集中力や忍耐力を養うことができ、共に乗り越えた友人たちとの絆も一層深まりました。



大学見学

高校1～3学年は、6月1日（木）と2日（金）に東京周辺の大学を見学しに行きました。この見学では、東京大学、慶應義塾大学、早稲田大学など、日本の最高峰の大学を訪れることで、将来の目標に向かってモチベーションを高め、日々の学習に新たな気持ちで取り組むことができるようになりました。2日（金）は記録的な大雨となりましたが、その中でも生徒たちはそれぞれの学びを得ることができました。



流石！吹奏楽部

2年連続ダブルで全国大会出場

マーチング銀賞・吹奏楽コンクール銅賞

本学院吹奏楽部が第66回宮城県吹奏楽コンクールにおきまして、海鋒義美賞（11回目）を受賞し、東北大会出場を決めました。実質県ナンバーワンの実力を発揮した見事な演奏でした。東北大会でも、実力を発揮して東北ブロック代表の3校の枠に入り2年連続での全国大会出場を決めました。併せて、東北マーチングコンテストにおいても見事金賞を受賞しこちらも2年連続で全国大会出場を果たしました。

全国吹奏楽コンクールは10月22日（日）に高等学校の部が名古屋国際会議場で開催され、銅賞を受賞しました。また、全日本マーチングコンテストが11月19日（日）に大阪城ホールで行われました。地区大会を勝ち抜いた25団体で演奏・演技が展開され本学院吹奏楽部は2年連続での銀賞というすばらしい成績を残しました。



【2023. 10. 22 全国吹奏楽コンクール】



【2023. 11. 19 全国マーチングコンテスト】

全国選抜大会強豪校を撃破し準優勝

2023年3月24日～28日、岩手県花巻市花巻総合体育館で行われた第51回全国高等学校選抜バドミントン大会において男子バドミントン部が団体戦で準優勝を果たしました。2019年インターハイ団体戦優勝に続く快挙を成し遂げました。予選から強豪校とぶつかる厳しい大会でしたが、一つ一つ目の前の試合のことだけに集中して最善を尽くし決勝まで進むことができました。決勝では、埼玉栄高等学校に惜敗。しかし、夏のインターハイに繋がる大会となりました。



全国高校総体バドミントン競技大会

快挙!! 男女アベック団体戦第3位

北海道札幌市で行われましたバドミントンの全国大会（インターハイ）は、8月15日（火）から21日（月）までの7日間の日程で行われました。男子団体戦では春の選抜大会準優勝の流れを引き継ぎ、あと一步ところで決勝進出を逃してしまいましたが3位入賞。女子団体戦も実力を遺憾なく発揮して3位入賞。アベックでの団体戦3位入賞は初めての快挙になります。出場した選手たちは、教職員の打合せの時に大会の結果と今後の展望を話してくれました。今後はさらに上を目指し、練習に励んでいくと抱負を述べました。



女子卓球部 佐藤美佐希さん

シングルスで「インターハイ」出場

「インターハイ」に出場して感じたこと

聖ウルスラ学院英智 3年佐藤美佐希さん

インターハイでは、様々な重みを感じながら試合に臨みました。チーム及び個人としてインターハイ出場を大きな目標にして練習に励んできました。団体戦での出場は叶い没能でしたが、シングルスで出場できたことに誇りを感じています。聖ウルスラ学院英智女子卓球部に入り、顧問の佐藤雄二先生の下で卓球に打ち込めたことを誇りに思っています。そして、3年間で積み上げてきた貴重な経験と学びを今後の歩みに生かしていきます。



インターハイ団体戦出場を目標に日々練習に励んできましたが一步及ばず団体戦での出場は叶い没能でした。しかし、3年生がチームの中心となって練習に取り組み、連帯感のあるチームに仕上がりました。今後は目標達成に向けて、より高い意識を持ってチームづくりに励んでいきます。(顧問)

【宮城県高等学校総合体育大会】女子団体戦 準優勝

女子シングルス 佐藤美佐希 3年 第3位 (IH、東北大会出場)

渡邊 桜菜 3年ベスト8・小幡姫菜 1年ベスト9 (東北大会出場)

【東北高等学校卓球選手権大会】女子団体ベスト8

小幡姫菜さん全日本卓球選手権大会ジュニアの部出場

小幡姫菜さん(尚志コース1年生)は、9月9日(土)10日(日)に行われた2024年全国卓球選手権(ジュニアの部)宮城県予選会において、本学院小幡姫菜さんが女子シングルスで見事に第3位入賞を果たし、全国大会出場を決めました。全国大会は、2024年1月22日(月)から東京体育館で行われます。本学院及び宮城県代表選手としての活躍を期待するとともに、全国大会の舞台で様々な経験ができることに感謝し、さらに上を目指して努力を続けてほしいものです。

【県新人卓球選手権大会】女子団体準優勝

個人戦：シングルス 佐藤さくらさん 第2位

ダブルス 佐藤さくらさん・早坂つばきさん 第3位

小幡 姫菜さん・横山 夕珠さん 第3位

全日本・NHK 全国学校音楽コンクール

合唱部ダブル東北大会出場

名取市文化会館大ホールで行われた第75回全日本合唱コンクール宮城県大会において、金賞・県理事長賞を受賞し、秋田県秋田市にある「あきた芸術劇場ミルハス」にて行われた東北大会で銀賞を受賞しました。また、第90回NHK全国学校音楽コンクール宮城県コンクールにおいて金賞を受賞し名取市文化会館で行われた東北大会において銅賞を受賞しました。今シーズンの始まりは、5月21日に行われた第75回宮城県合唱祭。各ブロックごとの投票によりフェスティバル賞をいただきました。その良い流れを維持し、長い時間をかけて磨き続けたハーモニーが、全日本・NHKでの東北大会出場に繋がりました。たくさんの応援ありがとうございました。



第 72 回宮城県高等学校総合体育大会

石沢愛莉さん個人総合で東北大会出場

令和 5 年 5 月 27 日（土）・28 日（日）の両日、利府町のセキスイハイムスーパーアリーナで第 72 回宮城県高等学校総合体育大会新体操競技が行われました。女子団体戦で 3 位入賞。女子個人総合で石沢愛莉さんが 3 位となり東北大会出場を果たしました。

女子団体 第 3 位

3 年生：石沢愛莉さん 2 年生：阿部佳凜さん、菅野惺々菜さん、三浦麗桜さん

1 年生：野田日葵さん

個人総合：第 3 位 石沢愛莉さん（3 年）東北大会出場

第 7 位 阿部佳凜さん（2 年）

種目別ボール：第 3 位 石沢愛莉さん（3 年）、第 7 位 阿部佳凜さん（2 年）

種目別クラブ：第 3 位 石沢愛莉さん（3 年）、第 8 位 阿部佳凜さん（2 年）

令和 5 年度 特別国民体育大会新体操宮城県予選会準優勝

令和 5 年度特別国民体育大会新体操宮城県予選会が利府町セキスイハイムスーパーアリーナで行われ、女子団体総合及び種目別**団体戦で見事準優勝**を成し遂げました。

団体戦のメンバー：石沢愛莉さん（3 年）、阿部佳凜さん、菅野惺々菜さん（2 年）

三浦麗桜さん（2 年）、野田日葵さん（1 年）

個人フープ：第 4 位 菅野惺々菜さん（2 年） 個人ボール：第 3 位 阿部佳凜さん（2 年）

個人クラブ：第 2 位 石沢愛莉さん（3 年） 個人リボン：第 3 位 三浦麗桜さん（2 年）

第70回宮城県高等学校新人大会

10 月 29 日セキスイハイムスーパーアリーナ県高校新人大会が行われ、個人総合及び種目別で 3 種目で 2 名の生徒が入賞を果たしました。

個人総合：第 4 位 阿部佳凜さん（2 年）

種目別クラブ：第 3 位、阿部佳凜さん（2 年）

種目別リボン：第 3 位菅野惺々菜さん（2 年） 第 5 位阿部佳凜さん（2 年）

第76回宮城県民体育大会新体操女子大会(於:白石キューブ12/9, 10)

第 1 部高校女子

種目別ボール：第 1 位 菅野惺々菜さん（2 年） 種目別クラブ：第 4 位阿部佳凜（2 年）

第 2 部高校女子

種目別フープ：第 1 位 野田 日葵さん（1 年） 種目別リボン：第 1 位佐藤陽菜（2 年）

大躍進 陸上競技部

高総体 3 種目で東北大会出場！！

[県総体]

加藤蒼生さん (3 年)	やり投げ	第 4 位	記録 50M60CM	東北大会出場
木村航和さん (2 年)	4 0 0 MH	第 5 位	記録 55 秒 25	東北大会出場
木村航和さん (2 年)	1 1 0 MH	第 4 位	記録 16 秒 03	東北大会出場

[東北総体]

木村航和さん (2 年)	4 0 0 MH	第 8 位	記録 55 秒 74	
--------------	----------	-------	------------	--

[宮城県新人陸上競技大会]

木村航和 (2 年)	男子 110MH	記録 15 秒 64	第 1 位 (東北大会出場)
	男子 400MH	記録 54 秒 79	第 1 位 (東北大会出場)
森 一繁 (2 年)	男子やり投	記録 47M15	第 4 位 (東北大会出場)
	男子砲丸投	記録 11M58	第 5 位
三浦華凜 (2 年)	女子やり投	記録 32M30	第 3 位 (東北大会出場)

[東北新人陸上競技大会] 木村航和 (2 年) 男子 400MH 記録 54 秒 52 第 4 位



【400MH 木村航和さん】



【やり投 森 一繁さん】

県高総体において 3 種目で入賞を果たし東北大会に出場するなど、輝かしい成績を収めた陸上競技部。インターハイ出場をかけた東北大会では、木村さんが 400MH で 53 秒台の好記録を叩き出し決勝進出を果たしました。決勝では 6 位入賞には至らずインターハイ出場は叶いませんでしたが、東北で、次年度のインターハイを目指す選手たちの中では優勝候補の一人です。来年更なる成長を期待したいものです。また、新人戦でも 2 年生が大活躍来年の更なる飛躍が期待されます。

2023 小原流学生いけばな競技会

「北海道・東北地区大会」

最優秀賞1名、優秀賞1名、準優秀賞3名の快挙

本校華道部生徒が2023小原流学生いけばな競技会「北海道・東北地区大会」において5名が入賞しました。本校尚志コース3年 猪股璃未さんが最優秀賞を受賞、同尚志コース3年鈴木桃子さんが優秀賞、Type2コース2年阿部桜奈さん、同type2コース3年和田佳音さん、同Type2コース2年大村愛以さんが準優秀賞に輝きました。おめでとうございます！！



【最優秀賞猪股璃未さんの作品】



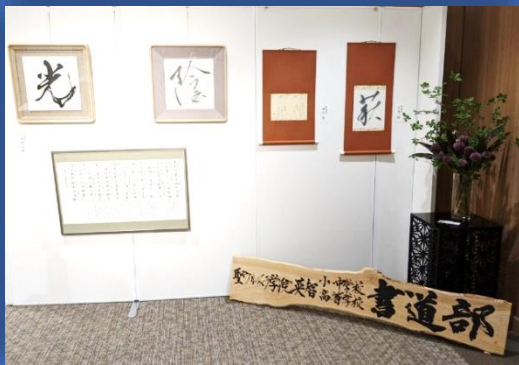
【優秀賞鈴木桃子さん】



【準優秀賞阿部桜奈さん】 【準優秀賞大村愛以さん】 【準優秀賞和田佳音さん】

本学院書道部展「藤崎本館」

8月5日（土）～10日（木）の6日間、藤崎本館3階特別室で「光陰」をテーマに開催した第24回本学院書道部展が行われました。保護者の方々をはじめ、本学院卒業生及び在校生、そして地域の方々にもたくさんご来場いただき励ましの言葉をいただきました。

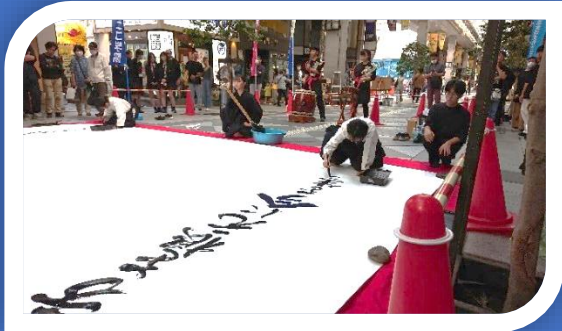


英智祭パフォーマンス 9/3(日)



「みやぎ私学フェア」

県内私立 19 校の魅力を映像とパフォーマンスで発信しました。10 月 1 日（日）にはサンモール一番町アーケード内で行われたパフォーマンスプログラムで、本学院書道部が取りを務めました。



第七十二回宮城県高等学校書道展覧会
推薦をはじめ多数入賞

第七十五回全国学生書道展
団体 優秀賞
個人 準大賞(二位)
毎日新聞社賞他多数入賞

宮城県高等学校総合体育大会

男子・女子団体戦準優勝 東北大会出場

男子個人戦 庄子・板橋組 東北大会出場

第72回宮城県高等学校総合体育大会、ソフトテニス部結果報告 6月3日（土）～5日（月）に泉総合運動場泉庭球場において、男女ソフトテニス部の県総体が行われ、男女団体戦及び男子個人戦ダブルスで東北大会出場を果たしました。



【円陣】



【庄子・板橋組】

宮城県高等学校新人ソフトテニス大会

団体戦 男子第2位、女子第3位

男子個人戦ダブルス 第3位 菊田・馬場組、佐藤・富主組

第5位 青柳・山下組

団体戦優勝を目標に掲げ練習に励んでいました。しかし、その努力が報われず、高校総体、新人戦ともに準優勝という結果に終わりました。ソフトテニス部のモットーである「百折不撓」の精神で今後も頂点をめざして練習に励んでいきます。（顧問）



First Stage

子どもたちの声があふれたファーストステージ

ファーストステージ運動会大成功

5月27日（土）Fステージ運動会が行われました。前日は天候不安な状況で実施が危ぶまれましたが、実施に向けての子どもたちの熱い想いが勝り、当日は晴天に恵まれました。子どもたちが培った練習での成果を十分に発揮された運動会でした。保護者の皆様方の温かい声援のもと子どもたちは運動会を満喫しました。



ファーストステージ英智学習発表会

11月25日（土）ファーストステージ英智学習発表会が行われました。全学年英語劇に挑戦しました。子どもたちは一生懸命に練習を重ねて本番に臨みました。学年に応じた様々な工夫が施され、1年生「元気」。2年生「協力性」。3年生「迫力」。そして4年生は「最上級生としての力」。長い英語のセリフを暗記して大きな声で発表するだけでなく、役になりきり、自分たちで考えた動きをつけながら堂々と演技切りました。『Look at the world』の歌は、会場全体に美しい頭声を響かせました。流石4年生！



【1年：The Three Little Pigs 3匹のこぶた】



【4年：The Blue Bird 青い鳥】



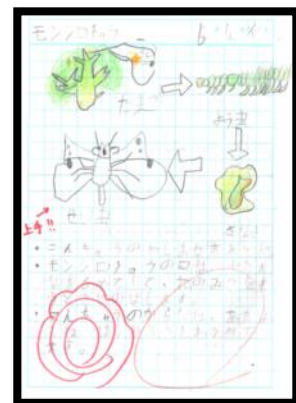
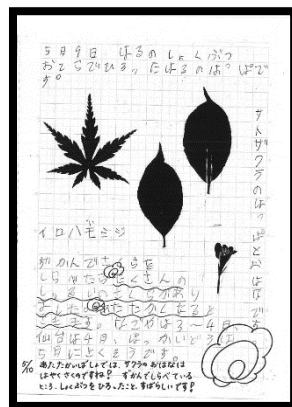
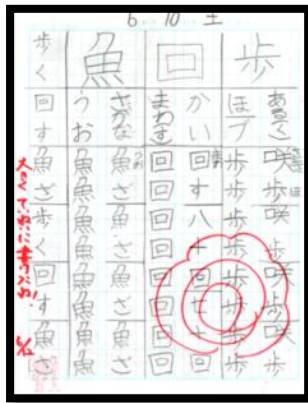
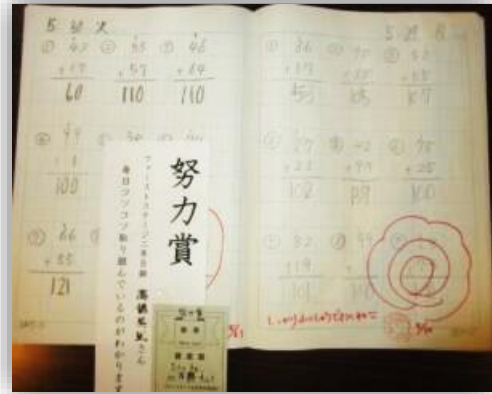
【2年：Swimmy スイミー】



【3年：LION KING ライオンキング】

自主学習帳コンクール

7月と2月の2回、ファーストステージ自主学習帳コンクールを行いました。ファーストステージの4年間は、知識欲も旺盛で学習による発達が着実に進む時期でもあります。そこで、この時期に基礎学力の定着と学びの基礎を身に着けさせるために実施しています。自分に必要な課題や興味を見つけ、探求心を持って創意工夫しながらノートを使って学習していく力を育成するために自主学習の取組を推奨しています。



英智光クラブ初の避難訓練実施

8月22日（金）宮城教育大学の3.11ゼミの武田教授及びゼミの学生をお招きして、英智光クラブの避難訓練を実施しました。英智光クラブだけの避難訓練は初めてでしたが、児童たちは指導されたことをしっかり守り、真剣に取り組みました。訓練の中に引渡し訓練を計画し保護者の方にも御協力いただきました。御協力いただいた保護者の皆様に厚くお礼申し上げます。



アンガーマネジメント講習会

5月30日に第一印象研究所の杉浦講師をお迎えし、「アンガーマネジメント講習」を実施しました。この講習は、怒りの感情を上手にコントロールしてよりよい人間関係を築いていくための講習です。7年生は、カードゲームをしながら、具体的な場面ごとに、相手だったらどれくらいの怒りを感じるのかを考え、なぜそのように感じるのか、どのような行動をとることができるか等の意見交換をしました。児童生徒たちは、自分の怒りの傾向を知り、自分の怒りをコントロールするにはどのような振る舞いをすればよいのかをしっかりと学びました。



フレンドパーク開催

5～7年生の縦割りチームで様々な競技に挑戦する「フレンドパーク」を実施しました。1回目は、5月11日の午前中に南小泉グラウンドで「長縄抜け」を行いました。午後には、楽天とオリックスの野球観戦を楽しみました。この行事は、集団への関わり方を、異学年交流やスポーツを通して学ぶことを目的に行われています。みんなで仲良くなれるようにという思いを込めて、往年のテレビ番組よりお名前を拝借しました。2回目は、11月22日に行われ、ドッジボールで交流を深めました。開会・閉会行事の進行や競技担当等、それぞれの役割を児童生徒たちがしっかりと果たしていました。勝利にこだわって作戦を練ったり、応援を頑張ったり、競技を楽しみました。



セカンドステージ 英語スキット・暗唱コンテスト

今年セカンドステージでは、英語スキット・暗唱コンテストが行われました。コロナ禍で英語暗唱のみ行っていましたが、今年はスキットを復活させました。「英語スキット」は、英語の短い題材を、3～4人で演じる劇です。英語暗唱は、その名の通り、英語の課題文を暗記し、一人で発表するものです。この行事は、児童・生徒の英語力向上を主な目的としています。

最優秀賞決定戦

各学年の結果が発表され表彰が行われました。

この行事を通して、子どもたちは自分の英語の力を伸ばしたのはもちろん、友人と切磋琢磨することの大切さも学ぶことができました。この努力を糧として、今後も頑張りたいと思います。

ステージ最優秀賞決定戦は、高校の先生方を審査員として招いて行われました。各学年の最優秀賞、優秀賞が出場する、レベルの高い決定戦となり、英語暗唱1名、英語スキット1組にステージの最優秀賞が贈られました。



Third Stage

充実して楽しいと感じるサードステージ

校外学習

5月11日（木）にType2コースの生徒たちは、榴岡公園と仙台市歴史民俗博物館、そして楽天モバイルパークでの野球観戦の校外学習に出かけました。暑い中2万歩を超える距離をみんなで楽しく歩きました。最後は、お待ちかねの野球観戦。この年度初めの行事を通して、コース内の親睦を深めることができました。また、Type1コースの生徒たちも合流し全力で楽天を応援しました。その応援が届き楽天が勝利し、最高の気分を味わえました。特別志学コース Type18, 9年生は6月上に松島の校外学習に出かけ、地域の歴史や文化、その土地で生きる人々について学びました。



合唱コンクール開催

中学校課程の各クラスが発声練習や最終確認をして、コンクールに臨みました。本番の数分間に、練習で培った美しいハーモニーが会場全体に響き渡りました。練習では、課題を見つけ、悩み、奮闘してきました。クラスの仲間と考えると課題克服に向けて力を合わせて取り組みました。この過程で得た経験を何より大切にしたいと思っています。今年は6年生をお招きして開催しました。6年生のみなさんは、先輩の合唱を聴き、来年度の合唱コンクールでの自分たちの姿を想像していたに違いありません。来年の合唱コンクールが楽しみです。合唱コンクールのテーマでもある「Challenge～努力・協力～」が達成できたと実感しています。



沖縄 9 年生研修旅行

10 月 21 日（土）～24 日（火）

1 日目：元気に仙台空港を出発し那覇空港に到着。到着後は首里城公園に移動し、琉球王国に始まる沖縄の歴史を学びながら、火災による補修工事を行っている首里城を見学。初日のホテルの夕食で沖縄料理を満喫。



【仙台空港】

2 日目：平和祈念公園やひめゆりの塔での平和学習。おきなわワールドでの体験学習、米軍嘉手納基地の見学と、密度の濃い研修行程。最初の目的地は、平和祈念公園。宮城県の方の慰霊碑を教えてくださいました。資料館では、その悲惨さに心



を傷めていた生徒が多数いました。これまで以上に戦争の残酷さや平和の尊さを身近に感じたのではないのでしょうか。次に向かったのは、ひめゆりの塔です。こちらではお花とお祈りを捧げ、その後はお話に真剣に耳を傾けました。次に向かったのはおきなわワールドで、様々な体験をしました。最後は嘉手納基地を道の駅から見学。

【ひめゆりの塔】

三日目：美ら海水族館の見学やウォーターアクティビティなど、4 日間の行程の中で最も活動量の多い日となりました。美ら海水族館では班ごとにルートを考えて行動。敷地がとても広い上に、施設もとても充実しており、見て回るのがとても大変。午後はウォーターアクティビティを実施。シュノーケリングやバナナボートを全力で楽しみました。



【ウォーターアクティビティ】



【解散式】

沖縄研修旅行 探究活動発表会

沖縄研修旅行では、沖縄についてテーマ毎に調べ学習を実施しました。事前学習で学んだ事を実際の現地で見聞きしさらに理解を深めることができました。発表会では、各班の発表者に対して活発な質疑応答がなされました。生徒一人一人が興味・関心を持ち、深掘りした内容を聞くことで、楽しく、有意義な共有の場となりました。

高円宮杯第75回全日本中学校英語弁論大会



9年 嶋崎文乃さん 全国5位入賞

11月24日（金）有楽町よみうりホールにて高円宮杯第75回全日本中学校英語弁論大会が行われました。本学院9年生嶋崎文乃さんは、国立オリンピック記念青少年総合センターで行われた北部日本地区予選を勝ち抜き、本選出場を果たしました。決勝大会では見事5位入賞を果たし、併せてワールドファミリー賞も受賞という快挙達成。

TOHOKU ELT EXPO 開催

1月9日（火）に本校を会場に「TOHOKU ELT EXPO」が開催され、全国から集まった英語教育のエキスパートの方々による34のプレゼンテーションが行われました。幼児教育から大学教育、教育理論から実際のアクティビティー演習など、バラエティー豊かなプレゼンテーションが披露されました。本校からも、中学生がインターンとして参加し、9年生による英語弁論発表や、また、本校教諭によるディベートの授業の実践報告なども行われました。会場のメインホールとなった多目的ホールでは、Type1 9年嶋崎文乃さんが、スピーチを披露しました。このスピーチは、11月に開催された高円宮杯全国中学校英語弁論で高く評価されたものです。持ち前のプレゼンテーション力で、時には笑いを誘い、聴衆を引き込んでいく熱のこもったスピーチに、国際色豊かな会場は大きな拍手に包まれました。

全国から集まった英語教育のエキスパートによる34個のプレゼンテーションが行われるなか、本校の木村侑香子教諭も“*It's Debatable: Stepping Up to Debate from Elementary and Middle School.*”というタイトルでプレゼンテーションを行いました。今年度の英智公開研究会で行った8年生のディベートの様子や、言語技術教育を基盤として英語の授業の在り方について様々なアクティビティーを交えながら説明しました。



【嶋崎文乃さんスピーチ】



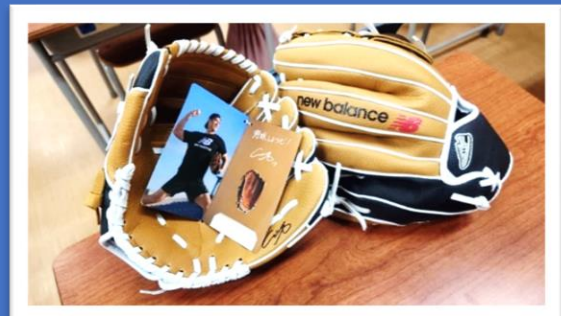
【木村教諭プレゼン】

今年も本校を会場に TOHOKU ELT EXPO
が大盛況のうちに開催され無事終了しました。
全国から 100 名近い参加者が集う中、本校の
8, 9 年生が、中学生インターン（運営ボラ
ンティアスタッフ）として大活躍。受付や計
時、案内、技術サポートなど、率先して大会
の運営のお手伝いをしました。その姿は非常
に頼もしく、運営役員の先生方からはたくさ
んのお褒めの言葉をいただきました。8・9 年
生のインターンの皆さん、大会の成功は皆
さんのお陰です。感謝しています。



大谷翔平選手からの贈り物

プロ野球の最高峰メジャーリーグで活躍する大谷翔平選手から寄付されたグローブが本学院に届きました。写真のグローブは日本全国の各小学校に 3 つずつ寄付されたものです。大谷翔平選手は、2023 年シーズン、アメリカンリーグ本塁打王に輝き、自身 2 回目の満票での MVP を獲得しました。昨年 12 月に「ロサンゼルスエンゼルス」から「ロサンゼルスドジャース」への移籍が決まりました。2024 年シーズンは、「ロサンゼルスドジャース」で MLB ワールドシリーズ優勝が期待されています。



幼稚園

特色ある質の高い幼稚園教育、そして、子育て支援も取り入れる「幼稚園型認定こども園聖ウルスラ学院英智幼稚園」と名称を変えて新年度スタート。

質の高い幼児教育に加え、預かり保育や子育て支援を充実させ、お子様の成長を見守り育んでまいります。

入園式では新たなとてもかわいい子どもたちが入園し、お兄さん、お姉さんとなったつぼみ組、はな組の園児たちも、それぞれ一回り成長して新年度を迎えます。



幼小接続教育

幼小接続教育として、それぞれ違ったテーマを設けて、幼稚園と小学校の交流をしています。

○第1回目は、『グリーン広場で遊ぼう』

一本杉キャンパスを初めて訪れる子どもたちは、高い関心を持ち出かけました。

敷地内を散策中はたくさんの卒園したお兄さん、お姉さんに会うことができ、とても喜んでいました。大きな芝生でリレーやサッカー、鬼ごっこ、シャボン玉遊び、また鉄棒にチャレンジするなど思いっきり体を動かし楽しみました。

「こんにちは…」



「わ〜い、まって〜」



○第2回目は、『学校内探検・聖堂での祈り』

学校の探検をし、「図書室」「聖堂」を小学校の先生に案内していただきました。

学校の広さに驚き、また、勉強している小・中学生の姿を廊下から見せていただき「すごいね」の声。メディアセンター（図書室）では、小学校の先生に絵本の読み聞かせをしていただきました。また、絵本を自分で選び、小学生になった気分で本を読むことができ、大満足でした。聖堂では、鹿野教頭先生からきれいなステンドグラスの意味やパイプオルガンの説明、そして、音色を聞かせていただきました。最後にパイプオルガンの伴奏で聖歌を歌いました。子どもたちにとって、パイプオルガンの音色はとても印象的だったようです。



『メディアセンター』では読書体験もしました！

『聖堂』ではパイプオルガンの演奏に合わせ聖歌を歌いました♪



○第3回目は、『授業体験』

子どもたちの身体には少し大きな勉強机と椅子。小学生になったつもりで、各クラス「算数」「英語」「国語」の授業に挑戦。鉛筆で名前を書いたり、発言したり、一年生気分を体感しました。小学生への憧れが高まった子どもたちでした。

高等学校交流「オータムコンサート」

小・中学校との交流だけではなく、高等学校との交流もあり、毎年、吹奏楽部による「オータムコンサート」が行われています。多人数の楽器演奏はとても迫力があり、初めは圧倒されている子どもたちでしたが、よく知っている曲が演奏されると、歌いながら大興奮。子どもたちに大人気の曲では、ノリノリでダンスを踊り、盛り上がっていました。子どもたちも高校生も笑顔いっぱいのひとときでした。



水遊び(フール指導)

年少3才児は、クラスの前に設置されたプール。屋上の大きなプールでは、年中・年長児が水遊び。夏の晴れた日は、子どもたちの歓喜の音が絶えません。



頑張った！「スポーツデー(運動会)」

コロナ禍のためスポーツデーを3日間に分散し、学年別に保護者に来ていただき開催しました。

全園児によるオープニングから始まり、かけっこやダンス、親子競技を全学年頑張りました。



【ふたば組ダンス】



【つぼみ組かけっこ】



【つぼみ組たまいれ】

はな組のクラス対抗リレーではみんな真剣そのもの。保護者とともに大きな声援が飛び交いました。また、今年初の『パラバルーン』は子どもたちと先生方が心を一つにして見事な演技を披露しました。



【はな組『パラバルーン』】

『ようちえんまつい』

年中・年長組は、クラスごとにどんな店にするか、一つ一つ話し合い、力を合わせて準備し当日を迎えます。一日目はふたば組がお客さんとなり、お兄さんお姉さんの世話を受けながら、楽しめます。二日目はつぼみ・はな組がお客さん。欲しいものを目指し、やりたいゲームを思う存分楽しめます。この行事を通して子どもたちは、協力・優しさなど様々なことを体験します。



【はな組ゲームコーナー】



園外保育「せんだい農業園芸センター」

ふたば・つばみ組の園外保育では、スクールバスに乗って「せんだい農業園芸センター」に出かけました。園外保育は、遠足をはじめ様々な場所に出かけ、いろいろな発見があったり、のびのびと走り回ったり、体も心もリフレッシュします。



「恐竜の歯ってすごいね！」
いろいろなわらアートがありどれも楽しい♪



秋の自然はやっぱり素敵です♪

第 42 回みやぎ児童画展「入賞作品」



特選 栗原千尋さん（年少）
「ママのおりょうりだいすき」



特選 竹内結衣さん（年少）
「パパのひげがすき」



特選 荒井りおなさん（年中）
「かぞくみんなでこうえんあそび」



特選 叶 權成さん（年中）
「どっちもがんばるママ」

クリスマスお祝い会

12月に入るとイエスさまのお誕生日のお祝いに、きれいな心や頑張った心をプレゼンしようとして、子どもたちは様々なことに取り組みながら毎日過ごします。そうして迎えたクリスマスお祝い会の日。年長組は、これまで練習してきた「聖劇」を一生懸命演じました。また、第2部の祈りの集いでは、お手伝いや少しの我慢をして集めたクリスマス献金やクラスで頑張った心のリースをイエスさまにプレゼントしました。そして、最後にキャンドルサービスを行い、イエスさまの光を心に灯しました。このあたたかい光が世界中に広がり、みんながしあわせになりますように・・・。

